

授業改善推進プラン 算 数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立光華小学校

学年等		項 目	内 容
令和 5 年度 第 4 学 年	令和 5 年 10 月	学習に関する 児童の実態・課 題	○学習への意欲があり、これまで学習した四則計算は8割程度の児童が身に付いている。 ▲2割程度の児童は、九九や繰り下がりのある引き算がすぐにできなかったり、板書をノートに書くことが難しかったりする。 ▲文章題で何を聞かれているか理解できず、立式や作図ができない。
		教科で身に付 けさせたい資 質・能力	・文章題の題意を読み取り、既習事項を活用して問題解決をする力 ・間違えた問題を振り返り、どこで間違えたのかを考える力
		具体的な授業 改善の方策	・授業の開始時に既習事項を確認をしてから問題解決型の授業展開を行い、友達と考え方を共有する。 ・間違えやすい問題は、気を付けるポイントを焦点化し教える。 ・ノートの重要な部分に線をひかせ、振り返りとして全体で共有する事で、学習の定着を図る。
	年度末	第4学年にお ける児童の達 成度と第5学 年に 向けての課題	○問題解決を中心とした授業や継続的な練習によって、立式やわり算の筆算や分数の計算など正しい手順で計算する力が付いた。しかし、その解き方を説明したり他の考えを出したりするなど自分の考えを表現することが苦手な児童もまだ少なくない。 ▲分度器やコンパスは反復練習により使いこなせるようになってきたが、180度をこえる角度の測定や図形の作図などはまだ苦手な児童が多い。
令和 6 年度 第 5 学 年	令和 6 年 10 月	学習に関する 児童の実態・課 題	○一時間一時間の学習課題に対して、主体的に学習ができている児童が多い。教え合いで解決できるように努力している姿を見ることができた。 ▲三桁や小数点の入るわり算の筆算になると、正答率が低くなる。 ▲単純な四則計算はある程度計算できるが、文章題の問題や□や○を使った問題は、理解しにくい様子である。
		教科で身に付 けさせたい資 質・能力	・最後まで粘り強く学習に取り組む姿勢 ・読解力をつけ、文章題の四則計算に繋げていく。 ・単位の種類と理解
		具体的な授業 改善の方策	・個の対応を心がけ、諦めずに最後まで問題を解けることができたなら、その子に合った言葉かけを忘れずに行う。 ・わり算の筆算は、1年間を通して、学習したことを忘れないように計画的に学年で相談する。 ・具体物を提示しながら、単位の理解をさせるようにする。単位のある文章題に取り組む時は、想像させてから問題を解くように学年で指導をそろえる。 ・ノートの重要な部分に線をひかせ、振り返りとして全体で共有する事で、学習の定着を図る。
	年度末	第5学年にお ける児童の達 成度と第6学 年に 向けての課題	
令和 7 年度 第 6 学 年	令和 7 年 10 月	学習に関する 児童の実態・課 題	○多くの児童は、連続計算や角度を求めるといった計算問題には比較的よく取り組めており、正確に解答する力を身に付けている。 ▲文章や言葉を用いて根拠を説明したり、答えを導き出すような記述式の問題には苦手意識をもつ傾向がある。
		教科で身に付 けさせたい資 質・能力	・児童が最後まで粘り強く学習に取り組めるように、励ましと継続的なサポートを行う。 ・問題に対する根拠を明確にしながら、文章題における四則計算へとつなげる力 ・単位の意味や使い方について理解を深め、計算の正確性と応用力
		具体的な授業 改善の方策	・学習内容の振り返りと確認を行う。 ・大切な部分に線を引いて何を答えるのか明確にしてから問題を解く活動をする。 ・文章題や応用問題では、場面を想起し、図や言葉で表す活動を取り入れる。
	年度末	小学校6年間 のまとめと中 学 校への引継事 項	